



第219号 令和3年(2021年)8月20日

市議会だより

■主な内容

6月定例議会の概要	2
各委員会での主な議案審査状況	2
議決一覧	8
一般質問	9
新型コロナウイルスワクチンの接種についての意見提出	13
常任委員会所管事務調査	14

茶畑と鈴鹿山脈(岸田町)

6月定例議会で可決した「鈴鹿のお茶は世界に通ずキャンペーン」(P6参照)が実施され、イベント会場や市内飲食店などで、かぶせ茶の試供品を配布するなど、鈴鹿茶の魅力発信が進められます。

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のホームページをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



6月定例議会の概要

新型コロナウイルス感染症対策と生活支援策を中心とした 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)など7議案を可決

6月定例議会を、6月3日から6月29日までの27日間の期間で開催しました。

まず、初日の3日には、「令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)」など4件の議案が市長から提出され、提案説明が行われました。

11日、14日、15日、16日、17日には、22名の議員が一般質問を行いました。

17日には、議案4件を委員会に付託しました。また、市長から「令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)」の議案が追加提出され、提案説明の後、質疑を行い、委員会に付託しました。

17日、21日、22日、25日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の29日には、付託議案について各委員長から審査結果の報告がありました。採決の結果、議案5件はいずれも可決しました。また、市長から「鈴鹿市教育長の任命同意について」など2件の議案が追加提出され、提案説明の後、採決の結果、いずれも同意することに決定し、散会しました。



各委員会での主な議案審査状況

予算決算委員会

予算の審査は、総務、文教環境、地域福祉、産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会

議案第36号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)

電子入札システムの導入により感染リスクを低減

○工事・業務委託等入札費 3,875万9,000円

(概要) 入札事務のIT化により、入札時の関係者の密集・密接を避けるため、電子入札システムの導入に要する経費を計上するもの。

質疑 今後、入札は全て電子入札で行っていくのか。

答弁 ICカードやパソコン関係の環境が応札者によっては整っていない場合もあり、導入後もしばらくの間は、紙と電子による入札を併用して行っていく予定である。物品購入に関する少額の随意契約の見積もりについては、見積金額に対する、市側に発生するシステム利用料との費用対効果を考慮する必要がある、運用基準を定めて、一定金額以上の案件について電子入札システムを利用した見積もりを行っていくと考えている。

救急車に感染リスクを低減させる資機材を設置

○高規格救急車整備費 587万4,000円

(概要) 新型コロナウイルス感染症患者の救急搬送時において、救命処置やバイタル測定などを実施する際の救急隊員の感染リスクを低減させる資機材の購入に要する経費を計上するもの。

(内訳) シートカバー 72枚

心臓マッサージシステム一式 2台

質疑 購入する心臓マッサージシステムの内容および設置場所はどのようなものか。

答弁 従来、救急隊員が心臓マッサージを実施していたが、購入する心臓マッサージシステムは、背中にボードを当てて、上から上部ユニットを取り付けることで、揺れに強く、的確な心臓マッサージを行えるものである。また、心臓マッサージに従事する職員への感染リスクを減らすこともできる。新型コロナウイルス感染症患者を搬送する救急車は、中央消防署、北分署、南消防署に3台あり、昨年、中央消防署分の1台を購入したため、今回購入する2台は、北分署と南消防署の救急車に配置する。



心臓マッサージの様子



心臓マッサージシステム

新型コロナウイルス感染症対策に係る施設管理を業務委託

○庁舎等管理費／施設管理委託料 1,550万円

(概要) 新型コロナウイルス感染症対策に係る施設管理の業務委託に要する経費を計上するもの。

(内訳) 本館無線LAN環境用アクセスポイント設置等業務委託 820万円

電話交換機改修等業務委託 170万円

本庁舎抗菌・抗ウイルス加工業務委託 300万円

検温ブース運營業務委託 220万円

消毒業務委託 40万円

質疑 本庁舎抗菌・抗ウイルス加工業務委託はどのような内容か。

答弁 イスのサンケイホール鈴鹿および文化会館は、ヘルスブライトエボリューション(※)という薬剤で抗菌・抗ウイルス加工を実施しているが、他にもさまざまな薬剤があるため、より効果のある薬剤を調査検討し、導入しようと考えている。ヘルスブライトエボリューションの効果は5年程度で、次亜塩素酸ナトリウムやアルコールで拭いても、効果は持続するとのことである。また、業者の選定については競争入札で行う予定である。

※ヘルスブライトエボリューション・・・塗布加工することで、抗菌などの効果がある薬剤

文教環境分科会

議案第36号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)

勝速日神社祭礼用山車の修復費に対する補助を実施

○指定文化財修復費補助 250万円

(概要) 一般財団法人自治総合センターの助成金を財源に、一般コミュニティ助成事業として、鈴鹿市指定有形民俗文化財である勝速日神社祭礼用山車の修復をするための補助に要する経費を計上するもの。

質疑 修復の財源となる一般財団法人自治総合センターの助成金は、修復費用に対してどの程度の割合で補助されるのか。

答弁 今回利用する助成金は、一般財団法人自治総合センターが実施する事業のうち、一般コミュニティ助成事業に該当する。この助成金は、費用に対する割合で助成額が決まるものではなく、助成対象事業1件当たり100万円から250万円を助成するものであり、今回の勝速日神社祭礼用山車の修復に対しては上限の250万円が助成される。



勝速日神社祭礼用山車

加佐登小学校の特別教室を特別支援教室に改修

○教育施設環境整備費／学校大規模改造(障害児等対策)事業費 988万3,000円

(概要) 加佐登小学校に今年度4月から新たに肢体不自由児の特別支援学級が設置されたことに伴い、特別支援教室に必要な設備などを整備するための工事に要する経費を計上するもの。

質疑 加佐登小学校の特別支援教室への改修に係る費用のうち、その他(諸経費等)とされている費用の内訳はどうなっているのか。また、財源として市債を発行しているのはなぜか。

答弁 主な諸経費は、養生やバリケード設置に係る仮設費や現場管理費および一般管理費に係る共通費である。

財源については、投資的な経費に係る財政負担の平準化や、普通交付税算定上の措置などの財政的な効果を考慮して、市債を発行することとしている。



加佐登小学校

地域福祉分科会

議案第36号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)

多言語通訳システム・多言語翻訳システムのタブレット端末を追加

○多文化共生推進費 448万7,000円

(概要) 外国人市民の相談窓口の機能強化と、市が発信する情報の多言語化により、外国人市民の生活支援を行うため、多言語通訳システムのタブレット端末の台数を追加し、使用時間を延長するとともに、多言語翻訳システムの新たなタブレット端末の導入に要する経費を計上するもの。

質疑 多言語通訳システムおよび多言語翻訳システムは、それぞれどのような契約になっているのか。また、多言語翻訳システムは、1回30分以内であれば、ビデオ通話による通訳への対応も可能なようだが、導入するタブレット端末をより安価な多言語翻訳システムに統一しなかったのはなぜか。

答弁 多言語通訳システムは想定使用時間に基づいた年間契約であり、多言語翻訳システムは月単位の定額契約である。多言語翻訳システムのタブレット端末は、アジア諸国の言語をはじめとする多言語の翻訳に対応するため、新たに導入するものであり、本システムのビデオ通話は、通訳の対応時間が短いため、翻訳に限定した契約とする。



多言語通訳システムのタブレット端末

私立保育園・幼稚園などの職員が受けたPCR検査費を補助

○私立保育所補助事業費／PCR検査費補助 90万円

○私学振興費補助等／私立幼稚園PCR検査費補助 10万円

(概要) 新型コロナウイルス感染症拡大の防止と、安定的な保育事業の継続のため、私立保育園・幼稚園などの職員が、その事業者の負担によりPCR検査を受けた場合に、その費用の一部を補助するために要する経費を計上するもの。

質疑 私立保育園は45回分、私立幼稚園は5回分のPCR検査費の補助とのことだが、どのような内容の補助になっているのか。また、ワクチン接種が進んだ場合、この補助事業にどのような影響が出ると考えているのか。

答弁 職員の勤務先や同居の家族などに陽性者、濃厚接触者などが発生した場合、職員本人は行政検査の対象ではないが、保育施設の安定した管理運営のために職員に対して私立保育園・幼稚園などが自費でPCR検査を実施した場合、その費用の一部を補助する。1検査当たり事業者負担分の2,000円を差し引き、職員1人当たり上限2万円、検査回数2回までとして補助する。

今後、ワクチン接種の進行状況によっては、PCR検査の需要が下がる可能性も考えられるが、事業者の運営上の安心を担保するものとして、本事業を実施したい。

議案第40号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)

生活保護に準じる水準の困窮世帯に対する支援策を実施

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給費 1,462万8,000円

(概要) 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、就労による自立のため、または、自立が困難な場合に円滑に生活保護の受給へつなげるための生活支援に要する経費を計上するもの。

質疑 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金は、どのような方が支給の対象になるのか。

答弁 緊急小口資金などの再貸付が終わった世帯、8月までに緊急小口資金などを借り終わる世帯、緊急小口資金などの再貸付が不承認となった世帯で、収入および資産の要件に該当し、今後、自立に向けた活動を行う方や、自立が困難な方が支給の対象となる。



新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金パンフレット

産業建設分科会

議案第36号 令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)

「鈴鹿のお茶は世界に通ずキャンペーン」を実施

○特産物振興費 3,289万円

(概要) 鈴鹿茶の新たな需要創造と消費拡大および流通在庫の解消を目的に、イベント会場や市内飲食店などでかぶせ茶の試供品を配布して新たな飲み方の提案を行い、国内外に広く鈴鹿茶の魅力を発信するとともに、鈴鹿茶の取扱店舗やインターネット通販拡大に係る取り組みを実施することにより販路多様化を図ることで、茶生産農家の経営安定化を目指すために要する経費を計上するもの。

質疑 昨年植木を市民へ配布したように、市民へのお茶の配布を検討してはどうか。

答弁 昨年度は市の事業とは別に、茶業組合が国からの補助を活用し、小学生などを中心にお茶を配布した。今年度はF1をはじめとするイベントの来場者を中心に配布するとともに、市内飲食店などにおいても配布用ティーバッグを配置し、市民の方にも手に取っていただけるようにしたい。



鈴鹿のお茶

磯山地区において地籍図および地籍簿を作成

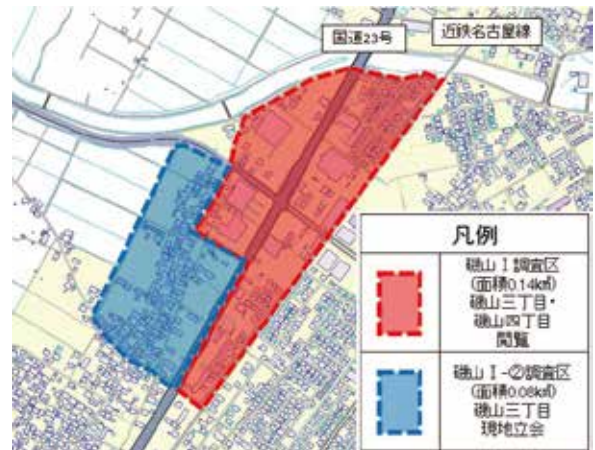
○地籍調査費 326万円

(概要) 磯山地区の津波浸水区域において、大規模災害発生時の迅速な復旧などのために、国土調査法に基づき実施する地籍調査に要する経費を計上するもの。

質疑 磯山地区を調査地区に選定した理由は何か。また、次に調査を行う予定の地区はどこか。

答弁 本市の地籍調査は、D I D地区(人口集中地区)で津波被害が想定される国道23号沿いの調査を優先的に行っており、これまで白子地区、寺家地区、磯山地区の順に調査を進めている。

今後は、中ノ川までの調査を行う予定であり、その後は、沿岸部である長太地区や若松地区の調査を予定しているが、市内全域から調査の要望があるため、沿岸部だけではなく幹線道路沿いの公図混乱箇所も含めて検討していきたい。



令和3年度地籍調査予定箇所図

議案第37号 令和3年度鈴鹿市水道事業会計補正予算(第1号)

上下水道局庁舎入口に据置式非接触赤外線温度計を設置

○据置式非接触赤外線温度計購入費 121万7,000円

(概要) 上下水道局への来庁者および職員の感染防止に係る据置式非接触赤外線温度計(5台)の購入に要する経費を計上するもの。

質疑 据置式非接触赤外線温度計の設置場所および耐用年数はどうなっているのか。

答弁 上下水道局本館の正面入口および東西の職員入口の3カ所、別館の正面入口および裏口の2カ所に設置する。新型コロナウイルス感染症の影響により、現在は説明会などの開催を見合わせているが、可動式であるため、説明会などが再開した場合には会場での使用も考えている。

経理上、固定資産として耐用年数を10年とし、減価償却していく予定である。



据置式非接触赤外線温度計

議決一覧（6月定例議会）

【賛成：○ 反対：×】

議案	会派名 ()は所属議員数	新緑風会	れいめい	自由民主党 鈴鹿市議団	市民クラブ	鈴鹿太志会	公明党	市民の声	諸派 (日本共産党)	無所属	議決結果
		(6)	(5)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)	(2)	(1)	
議案第36号	令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	令和3年度鈴鹿市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第38号	鈴鹿市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第39号	鈴鹿市税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第40号	令和3年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第41号	鈴鹿市教育長の任命同意について	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	同意
議案第42号	鈴鹿市監査委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃

※1 中村浩議員は反対、永戸孝之議員、大西克美議員、藪田啓介議員は賛成。

議長は原則として採決に加わりません。



会派等構成員一覧

新緑風会	宮本 正一	大杉 吉包	山口 善之	山中 智博	河尻 浩一	前川 申龍
れいめい	南条 雄士	矢野 仁志	市川 哲夫	池田 憲彦	田中 通	
自由民主党 鈴鹿市議団	宮木 健	野間 芳実	森 喜代造	桐生 常朗		
市民クラブ	永戸 孝之	中村 浩	大西 克美	藪田 啓介		
鈴鹿太志会	明石 孝利	水谷 進	平野 泰治			
公明党	藤浪 清司	池上 茂樹	船間 涼子			
市民の声	中西 大輔	市川 昇	田中 淳一			
諸派 (日本共産党)	石田 秀三	高橋さつき				
無所属	太田 龍三					
無所属	森 雅之(議長)					

採決時の会派等構成員一覧です。

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

自由民主党
鈴鹿市議団

宮木 健 議員

子育て支援の取り組みについて

(質問) 公立・私立の今後の在り方について、令和5年度までに施設整備を進める方針が出ているが、公立・私立の休日保育などの体制への対応を含め職員の待遇について問う。

(答弁) 公立幼稚園は5園に集約し、公立の果たすべき役割について整理する。私立保育園2園の休日保育実施園に対し本年度補助金を創設した。保育士の人材確保は情報発信の他、継続雇用、経験年数を配慮した補助金を創設した。

その他の質問 ○鈴鹿市の道路情勢 ○公共交通の取り組み ○耕作放棄地・荒廃農地の有効活用



公明党

池上 茂樹 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

(質問) 市役所1階で行う期日前投票は選挙人と一般の来庁者の密の回避が重要であり、期日前投票所をイスのサンケイホール鈴鹿に移し感染対策に努めるべきでは。また、期日前投票時の密を避けるため白子地区市民センターを第3の期日前投票所として分散投票を進めるべきでは。

(答弁) 本庁舎期日前投票所のイスのサンケイホール鈴鹿への移設の可能性について検討する。期日前投票所の増設により選挙人が3カ所に分散し、密を避ける効果が期待できるため、白子地区市民センターでの期日前投票所の増設に向け準備を進める。



公明党

藤浪 清司 議員

社会的孤立防止について

(質問) 独居の高齢者・障害者、うつ・ひきこもりなど、コロナ禍で深刻化している社会的孤立防止対策について尋ねる。また、高齢者や障害者などの避難行動要支援者ごとに作成する個別避難計画の作成への取り組みについて尋ねる。

(答弁) 社会的孤立の相談支援として社会福祉協議会などと連携しアウトリーチ支援の充実を図り、農作業を通して社会的関係を築く仕組みを考えている。令和3年3月末時点で災害時要援護者台帳登録者数は9,566人。介護専門職などの協力を得て、優先度に応じた個別の避難計画作成を進めたい。



公明党

船間 涼子 議員

コロナ禍の生活の負担軽減

(質問) コロナ禍における女性の負担軽減となる生理の貧困対策として、防災備蓄品を活用した、必要な方への配布と学校や公共施設のトイレへの配備について尋ねる。相談・支援の拡充、障害者の日常生活用具給付の拡大について伺う。

(答弁) 防災備蓄品として確保していた生理用ナプキンを健康福祉政策課など6カ所で、7月1日から無料配布する。また、各学校では希望する児童生徒へ配布したい。今後、相談・支援を継続して実施する。知的障害者の方への紙おむつの支給は、財源確保など慎重に判断していく。



鈴鹿太志会

水谷 進 議員

神戸地区の交通安全について

(質問) 歩行者の安全対策を地域が考え独自に設定するゾーンについて行政の対応は。

(答弁) 全国的にも「自分たちの町は自分で守る」といった意識の下、“いたわりゾーン”など独自ゾーンを設定し住民活動を行っている地域がある。各地区の自治会や地域づくり協議会、学校関係者などから独自ゾーンの設定など交通安全活動を実施したいという相談があれば啓発看板などの施工方法や施工時に必要となる道路占用など行政手続きについて関係部局と調整を図りながら対応したい。



その他の質問 ○金沢川

新緑風会

宮本 正一 議員

自転車通学路の安全対策について

(質問) 自転車保険加入の周知と自転車通学路の安全対策を問う。

(答弁) 三重県交通安全条例が施行され、自転車運転者の自転車損害賠償責任保険などへの加入義務が規定された。その内容は入学説明会や学校だよりなどを通じ保護者への周知を進めている。通学路は、雨天時の状況も把握して点検を行い、危険箇所については、鈴鹿市通学路交通安全プログラムにのっとり関係機関と連携し対応を協議する。

その他の質問 ○働き方改革と保育所運営



教育の諸問題について

(質問) ①若手教職員の転出について、②教育委員会の情報発信について、③教職員と教育委員会事務局の働き方改革について、④公会計化への取り組みについて、⑤教職員(保幼小中高)へのワクチン接種について問う。

(答弁) 教育委員会としては、5つの項目については理解しており、より良い方策を検討していく。教職員の育成については、育成支援を多方面から行いつつ、働き方改革を含めた対応を進めていく。教職員へのワクチン接種については、集団接種の余剰枠を活用するなどして、接種を進めていく。



公共施設政策について

(質問) 公共施設政策を総合政策課と公共施設政策課の2つの課に分割した組織改編の考え方は。白子、千代崎、白鳥の3中学校の改修スケジュールと、合意形成についてどのような方を対象にどのような手法で行うのか。

(答弁) 総合計画と公共施設等総合管理計画の一体的な管理と、公共建築物個別施設計画策定による、技術的見地からの体制整備のため。

6月下旬までに調査報告書の提出を受け、令和4年度予算編成をめどに各校の改修方針を決定し、実施する際は学校運営協議会の場を活用して説明する。



ワクチン接種について

(質問) 市長のワクチン接種にかける思いは。また、市長はいつワクチン接種を受けるのか。

(答弁) 市民へのワクチンの早期接種が進めば、新型コロナウイルス感染症を防止し、長期化している社会的影響の収束につながると考えることから、接種は重要な取り組みであり、一日も早く安心して暮らせる日常を取り戻すため、医療従事者、企業、学校、関係団体などの協力を仰ぎ、希望する全ての方が速やかに接種できるよう取り組む。市長は、年齢階層別に段階的に行う住民接種の中で接種を受けることを考えている。



新型コロナウイルス感染症対策について

(質問) 昨年実施された新型インフルエンザワクチン高齢者無料接種における「かかりつけ医」の役割と評価はどうなっているか。優先接種となっていない障害者施設従事者および障害者とその家族へのコロナワクチン接種をどう進めるか。

(答弁) 昨年の新型インフルエンザワクチン接種率は、過去5年平均を大きく上回り69%となっており、今後とも「かかりつけ医」の啓発に力を入れていく。障害者通所施設は施設内接種により利用者および従事者職員の接種を進める。障害者とその家族については他の自治体の取り扱いを調査する。



高速道路ネットワークを活用した鈴鹿市の産業政策について

(質問) 本市では、現在、西部地区の2本の高速道路にそれぞれインターチェンジが設けられているが、上記を活用した産業活性化に向けた都市計画および土地利用の現状について、どのようになっているのか。

(答弁) 本市の基本的な方針である「鈴鹿市都市マスタープラン」にて、「スマートIC利活用エリア」など、大規模な工業地などの開発需要に対応するため、産業活性化に向けた土地利用方針を示している。また、現在、本市西部地域において地区計画が2カ所、都市計画決定されている。



食の安全について

(質問) 規制緩和により、グリホサート(除草剤)葉物野菜に使用するネオニコ系農薬の残留基準が引き上げられ国際基準を大きく上回り、生態系への影響、人への健康被害が危惧される。特に子どものアトピー、アレルギー、発達障害などの原因の一つと言われている。学校給食に安全性の高いオーガニック農産物を導入しては。

(答弁) 将来的に、有機農産物の供給量が増加し、給食に安定した量の確保が可能となり、また価格面でも従来と同程度になれば検討していく。

その他の質問 ○防災



市民クラブ 永戸 孝之 議員

届かない支援への取り組み(新たな仕組みづくり)について

(質問) ヤングケアラー(若者介護)支援について、厚生労働省と文部科学省は昨年から今年にかけて短期間で全国中高生のヤングケアラー調査を実施し、結果、考察、支援策を発表した。これを受けて持続可能な仕組みは何と考えるか。

(答弁) この研究報告を受け、国はヤングケアラー支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチームを立ち上げた。今後は、早期発見把握、支援策推進、認知度の向上に取り組む。支援については、福祉・介護・医療・教育の連携が必要と考える。
その他の質問 ○公共事業の民間活用



れいめい 池田 憲彦 議員

GIGAスクール構想について

(質問) GIGAスクール構想の実現に向けICT環境が整備され、本格的なICT機器の活用が始まったが、ICT教育に関する教職員研修と教育委員会の体制はどうなっているのか。

(答弁) 国が目指す個別最適化の学びと協働的な学びの実現を目指し、教職員一人一人の資質・能力向上に関する研修体制を整え、学校への指導や支援の充実を図る。また、教職員が活用する1人1台端末にICT利活用に特化したサイトを設置し、活用事例などの情報発信や情報交流を行う計画である。

その他の質問 ○若者の「社会的孤立」



市民の声 田中 淳一 議員

選挙に関する取り組みについて

(質問) 前回の統一地方選挙における期日前投票の利用状況を比較すると、庄野投票地区は約23%、栄第3投票地区・白子第1投票地区は約7%である。南部投票地区の有権者数は、本市の全有権者数の約30%であるが、なぜ期日前投票所を設置しないのか。

(答弁) 選挙人の利便性の向上、あるいはコロナ禍における選挙執行の観点からも、投票環境の改善を図ることが期待できることから、白子地区を中心とした南部地区において拠点機能を有する、白子地区市民センターでの期日前投票所の増設に向け準備を進める。



市民クラブ 中村 浩 議員

水道料金等軽減(免除)について

(質問) 水道料金等軽減(免除)決定通知書に記載の鈴鹿市水道料金等の軽減又は免除取扱規程第8条第2項の規定の意味と漏水に関する対応は。

(答弁) 水道使用者が給水装置を適切に管理していたにもかかわらず、給水管の損傷などで、漏水が発生した場合には、規程に定めるとおり減免を実施している。

また、配水管の破損事故などにより、宅内で濁り水が発生した場合は、水道使用者に放水を依頼して、放水分の水量を控除している。昨年度の漏水は約840件、約600万円を減免した。



れいめい 田中 通 議員

小中学校周辺の安全確保について

(質問) 長年、地域が危険性を懸念してきた若松小学校北門前の交差点で、4月に児童が重大事故に遭った。学校が把握している危険箇所はどのように管理・周知されているのか。また、鈴鹿市通学路交通安全プログラムはどのように機能しているのか。

(答弁) 学校が危険と感じている箇所の共有を図りつつ学校と教育委員会、関係機関との連携を推進し、同プログラムの仕組みを生かし、子どもたちの安全安心の確保に努める。

その他の質問 ○PCB含有廃棄物への対応
○指定管理者や外郭団体のチェック体制



諸 派 高橋 さつき 議員
(日本共産党)

生活保護について

(質問) 生活保護の申請者を扶養できるかどうかを親族に連絡する「扶養照会」は、申請をためらう原因の一つとなっている。扶養照会は義務ではない。厚生労働省の通知には、扶養照会を拒絶する申請者本人の意向を尊重すべき旨の規定も追加されたと考える。照会をする前に、申請者本人の同意を得ること、拒絶する場合は本人の意思を尊重し見合わせるよう求める。

(答弁) 要保護者の立場に立って寄り添い丁寧に聞き取るが、扶養照会の同意を事前に得ることは考えていない。

その他の質問 ○校則と子どもの権利



新型コロナウイルス感染対策について

(質問) 高齢者への接種が進んでいるが活発に動く若者から働き盛りの50代までの感染者が多く、この年代の感染抑制が必要では。ワクチン接種と社会的検査をエッセンシャルワーカー優先に行い、無症状の感染者の発見・保護を求める。

(答弁) 感染抑制のために接種を進め、高齢者入所施設従事者は入所者と同時接種を、在宅介護などの従事者は余剰枠を活用し進める。接種券は年齢階層別に段階的に送付、一般の方の接種を特設会場も設け7月以降に進めたい。

その他の質問 ○新交通システムの実証運行



部活動指導員の確保について

(質問) 中学校の部活動を充実させるため、部活動指導員の確保について問う。

(答弁) 部活動指導員を円滑に導入するため、既に活用している自治体などの運用や報酬積算の方法などを参考にして準備を進めている。予算や運用上の課題を整理するとともに、本市のスポーツ担当部局やスポーツ関係機関などと連携を図りながら、地域人材の確保や予算化に努め、生徒や学校にとって望ましい部活動改革を進めていく。

その他の質問 ○本市における公衆衛生分野の強化 ○発達障がい児



防災について

(質問) 「地区防災計画」の策定を急ぐべき。計画には、感染症対策も必要。また、豪雨災害への対策として、国では、流域の全ての関係者が協働し、ハード・ソフト両面での対策を行う「流域治水事業」を始めた。本市の取り組みや、ため池の治水活用への支援策は。

(答弁) 地域づくり協議会と協働で避難訓練を実施し、感染症対策も踏まえ計画策定などを促進。流域治水事業は市計画とも関連付け取り組む。ため池の治水活用は水利組合や農業者、関係機関と連携し保全・整備を実施。

その他の質問 ○地域づくり



災害時の情報伝達について

(質問) 防災スピーカーの音声と予備バッテリーについて伺う。

(答弁) 防災スピーカーは、災害などにより電力供給が断たれた際に24時間稼働する非常電源を搭載しているが、72時間以上稼働することが望ましいとの総務省の調査結果が公表されている。費用などの課題もあるため、設備更新などの時期に合わせて課題への対応を検討していく。また聞き漏らし防止のため、繰り返して放送する際には、1回目と2回目で男女の声を入れ替えるなどの対応を考えていく。

その他の質問 ○斎苑のバリアフリー化



新型コロナウイルスワクチンの接種についての意見提出

変異株による新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に伴い、国は、令和3年5月に愛知県を含む10都道府県に対して緊急事態宣言を発出したほか、三重県などに対して、まん延防止等重点措置を適用しました。

このような中、本市では、令和3年5月から65歳以上の高齢者を対象にワクチン接種を開始しましたが、市民の皆様からは、予約が取りづらいなどワクチン接種に関し、さまざまな声が寄せられていました。

そこで、本市議会では5月28日にワクチン接種の円滑な実施も含め、次の点に配慮していただくよう、正副議長と各会派代表者などから市長に対し意見を手渡しました。

提出した意見は、市議会ホームページ「トピックス」に全文を掲載しています。ぜひご覧ください。



市議会から市長への意見内容

1 高齢者などインターネットに不慣れな市民のために、予約のサポートおよびワクチン接種に関するさまざまな相談ができる窓口を地区市民センターなどに設置し、ワクチン接種の予約受付体制を強化すること。
また、ワクチン接種の予約受付とは別に、接種に関する質疑応答ができる専用電話の新設を検討すること。

2 ワクチン接種に対する不安を払拭するために、副反応や接種状況などワクチン接種にかかる情報については、市ホームページをはじめ、広報すずかや回覧板などを活用し、高齢者などにも分かりやすく丁寧に周知すること。

3 老人施設入所者や在宅療養の方などワクチン接種会場への移動が困難と思われる方のために、訪問接種など必要な支援策を検討すること。

4 貴重なワクチンを有効に活用するために、体調不良などにより、当日の予約キャンセルが出た場合のワクチンの取扱方針を定めること。

5 今後、ワクチン接種の対象者を65歳未満に拡大する際には、就業者やかかりつけ医を持たない方が多いことも予想されることから、電話や特にインターネットでの予約受付体制の更なる充実を図るとともに、企業内接種や休日・夜間に接種できる集団接種会場の拡充を検討すること。

6 今後、65歳未満の方に接種券を送付する際には、年齢別、地域別など、段階的に接種券を送付するなど、予約にあたり混乱が生じないような仕組みを検討すること。

7 今後、65歳未満の方の接種にあたっては、エッセンシャルワーカー（介護福祉士、保育士、教諭等）への優先接種を検討すること。



常任委員会所管事務調査事項を決定しました

総務・文教環境・地域福祉・産業建設の4つの常任委員会では、それぞれの所管事務について調査研究をしています。調査研究した成果は、予算編成や政策決定の参考として、市政に反映されるよう、市長に提言します。

令和3年度に調査する事項を次のとおり決定しました。

写真撮影のためマスクを外しています

総務委員会

1 交通安全について

交通安全啓発事業や交通安全条例などの調査研究を行うとともに、ゾーン30設置後の効果検証などを行うため交通安全について調査研究を行います。

2 職員研修と庁舎管理について

職員研修の内容や、来庁者に分かりやすく、接触を防ぐような庁舎の動線の作成に関わる取り組みについて調査研究を行います。

3 投票率向上と参加しやすい選挙について

投票率を向上させるため、投票しやすくなるような仕組みと参加しやすい選挙について調査研究を行います。



文教環境委員会

1 地域の文化財の掘りおこしと活用について

地域の文化財は、適切な保存と活用がなされなければ忘れられ、失われてしまうこともあることから、その掘りおこしと、多くの方に知っていただくための活用について調査研究を行います。

2 CO2削減の取り組みについて

気候変動を防止するための脱炭素化が世界の潮流となっており、我が国においても2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが進められることから、本市における現状と取り組みについて調査研究を行います。





地域福祉委員会

1 フレイル予防について

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えたり、人との関わりが減少する高齢者が増えていることから、健康維持と介護予防について調査研究を行います。

2 コミュニティソーシャルワーカーについて

生活に困難を抱える市民の相談に応じ、必要な支援を受けられるよう適切な窓口につなぎ、地域とのつながりを作るため、コミュニティソーシャルワーカーについて調査研究を行います。

3 子どもの居場所づくりについて

子どもたちが世代の異なる多様な人と交流するための場所や貧困に直面する子どもたちに食事などを提供する場所として、子ども食堂などの子どもの居場所づくりについて調査研究を行います。



産業建設委員会

1 市内経済の活性化に向けた取り組みについて

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する状況において、市内の商工業の活性化につながる支援策について調査研究を行います。

2 次世代公共交通システムについて

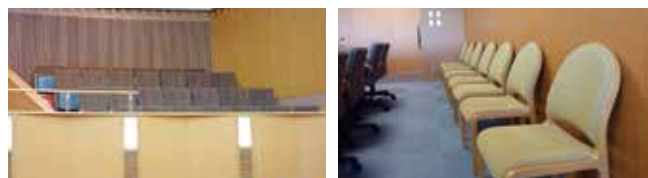
市内における公共交通の現状と課題を踏まえ、本市に有効な次世代公共交通システムについて調査研究を行います。



議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

本会議や委員会などの傍聴をするときは、市役所本館14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。本会議の傍聴受け付けは先着順です。本会議以外の傍聴受け付けは、開会30分前から開始し、同10分前に締め切ります(締め切り時点で傍聴希望者が定員を超える場合は、抽選により決定します。)

なお、会議の開催予定は、市議会ホームページや市役所掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名 委員会室：定員10名

音声を聞き取りにくい方に



議場傍聴席にて音声を聞き取りにくい方には、ヘッドフォンを貸し出していますので議会事務局へお申し付けください。

また、手話通訳と要約筆記をご希望の方は、事前にお申し付けください。



議会に来られなくても…

CNS(ケーブルテレビ)で生放送

本会議をデジタル112chで生放送しています。放送時間は午前10時(開会時間)から会議の終了までです。

市議会ホームページで録画映像配信

市議会ホームページで、テレビ中継した映像をおおむね2週間後に録画配信しています。

スマートフォン・タブレットなどのモバイル端末でも視聴できます。

もっと詳しく知るには…

会議録があります!

会議の詳しい内容については、市役所本館14階の議会図書室と4階の行政資料コーナーで閲覧できます。

なお、本会議の会議録は、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。

また、市議会ホームページで会議録を公開しています。

※6月定例議会の会議録は、8月中旬に配置予定です。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください

皆様のご意見などをお聞かせください

市議会や市議会だよりに対する皆様のご意見・ご提案・ご要望をお聞かせください。今後の参考にさせていただきます。

宛先は

鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号
TEL:059-382-7600 FAX:059-382-4876
mail:giji@city.suzuka.lg.jp

新型コロナウイルス感染症対策のためご協力ください

- ・議場および委員会室の傍聴入り口などに設置してある消毒液をご利用ください。
- ・咳や発熱などで体調の優れない方は傍聴をお控えください。



8・9月の会議日程

※日程は変更される場合があります。

月	日	曜日	時間	内容
8月	20日	金	10:00	本会議(提案説明)
	23日	月	14:00	議会運営委員会
	30日	月	10:00	本会議(質疑、一般質問)
	31日	火	10:00	本会議(一般質問)
9月	1日	水	10:00	本会議(一般質問)
	2日	木	10:00	本会議(一般質問)
				議会運営委員会(本会議終了後)
				各派代表者会議(議会運営委員会終了後)
3日	金	10:00	本会議(一般質問、追加議案等、委員会付託) 予算決算委員会(本会議終了後)	
9月	13日	月	10:00	文教環境委員会(分科会)
				産業建設委員会(分科会)
	14日	火	10:00	総務委員会(分科会)
				地域福祉委員会(分科会)
	21日	火	10:00	予算決算委員会
				各派代表者会議(予算決算委員会終了後) 広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
22日	水	10:00	議会運営委員会	
24日	金	10:00	本会議(委員長報告、討論、採決)	
			全員協議会(本会議終了後) 議会だより編集会議(全員協議会終了後)	